

生物群集保護林の地帯区分(案)

剣山植物群落保護林 (徳島森林管理署管内)

面積：446.01ha

祖谷川の河畔から剣山山頂(1,955m)まで標高差約900mの地域。冷温帯林から亜寒帯林まで、多様なタイプの植生が見られる天然林。

谷線が国有林界なので、既存の小班界を利用して、溪畔林部分にバッファゾーンを設ける。

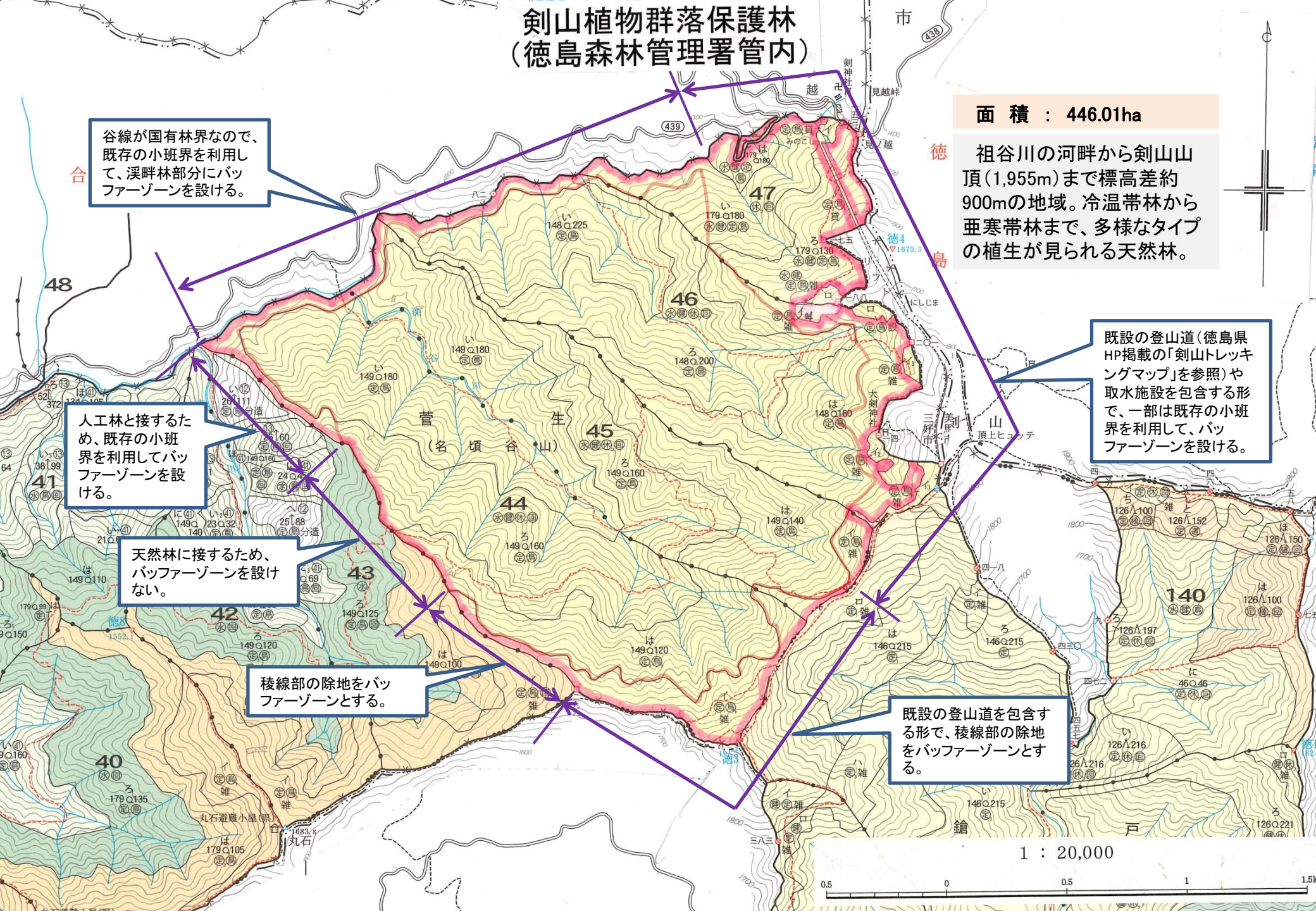
人工林と接するため、既存の小班界を利用してバッファゾーンを設ける。

天然林に接するため、バッファゾーンを設けない。

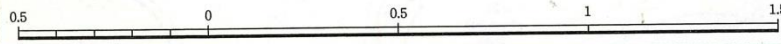
稜線部の除地をバッファゾーンとする。

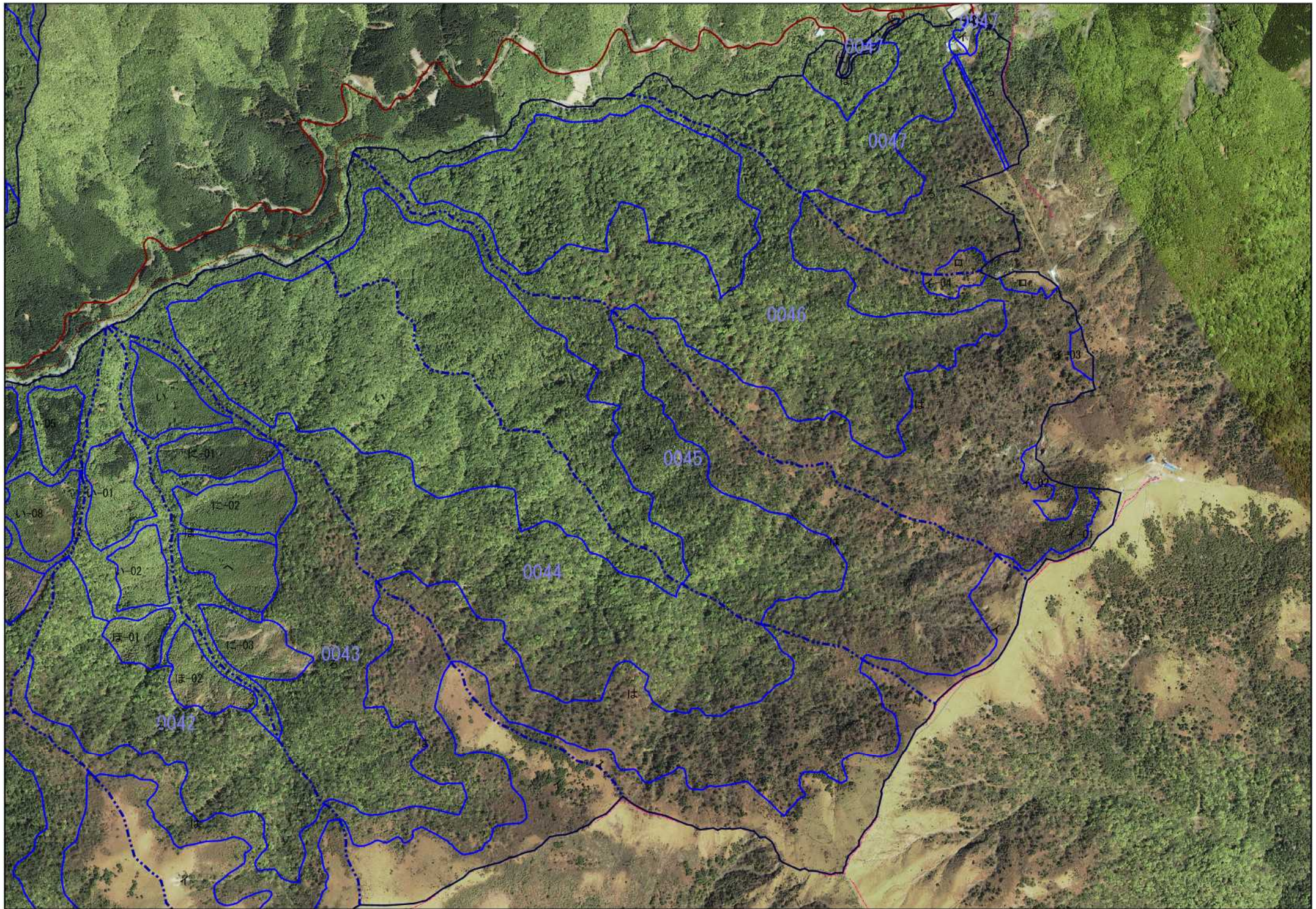
既設の登山道を包含する形で、稜線部の除地をバッファゾーンとする。

既設の登山道(徳島県HP掲載の「剣山トレッキングマップ」を参照)や取水施設を包含する形で、一部は既存の小班界を利用して、バッファゾーンを設ける。



1 : 20,000

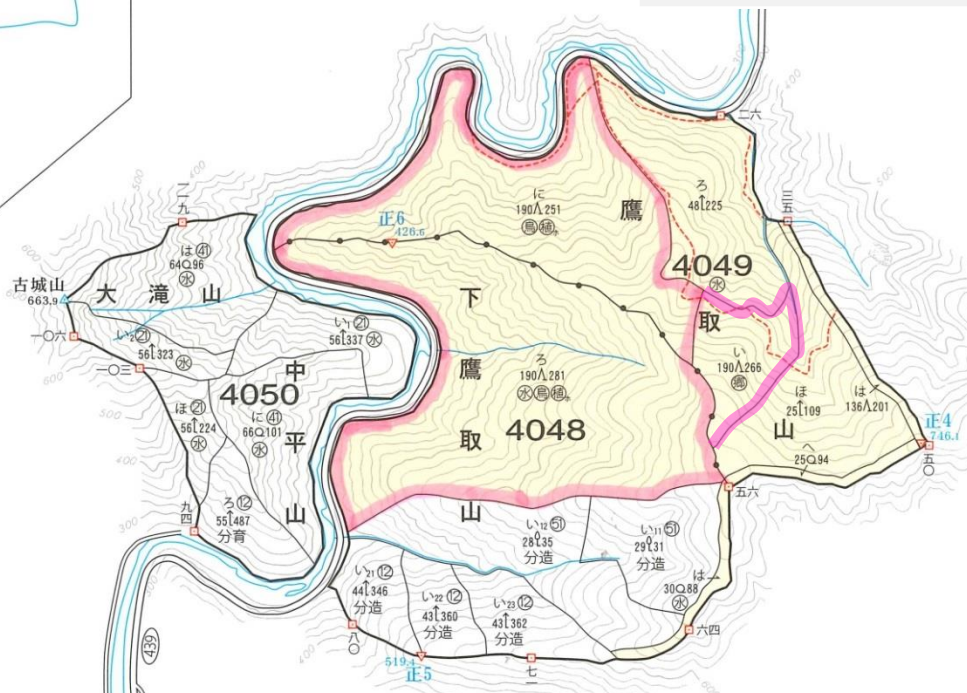




鷹取山植物群落保護林 (四万十森林管理署管内)

面積：87.97ha

モミを主体とし、ツガ・ヒノキなどの針葉樹に混じて、アカガシ、スダジイ、ホウノキなどの広葉樹が生育する天然林。

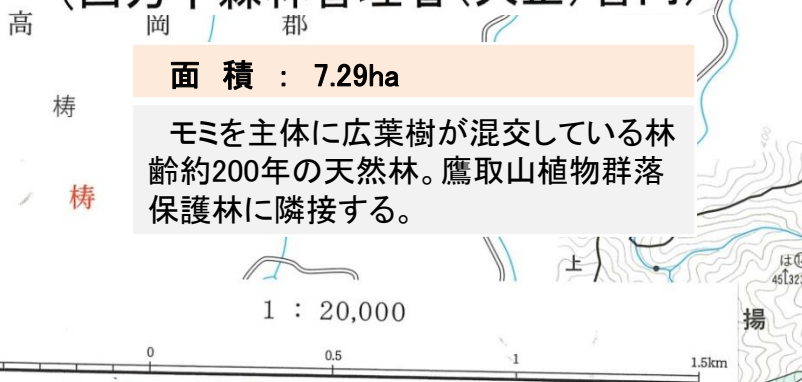


人工林に接するものの、比較的小規模の生物群集保護林であるため、地帯区分は行わない。

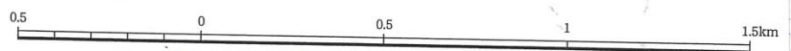
ゆすはら郷土の森 (四万十森林管理署(大正)管内)

面積：7.29ha

モミを主体に広葉樹が混交している林齢約200年の天然林。鷹取山植物群落保護林に隣接する。



1 : 20,000



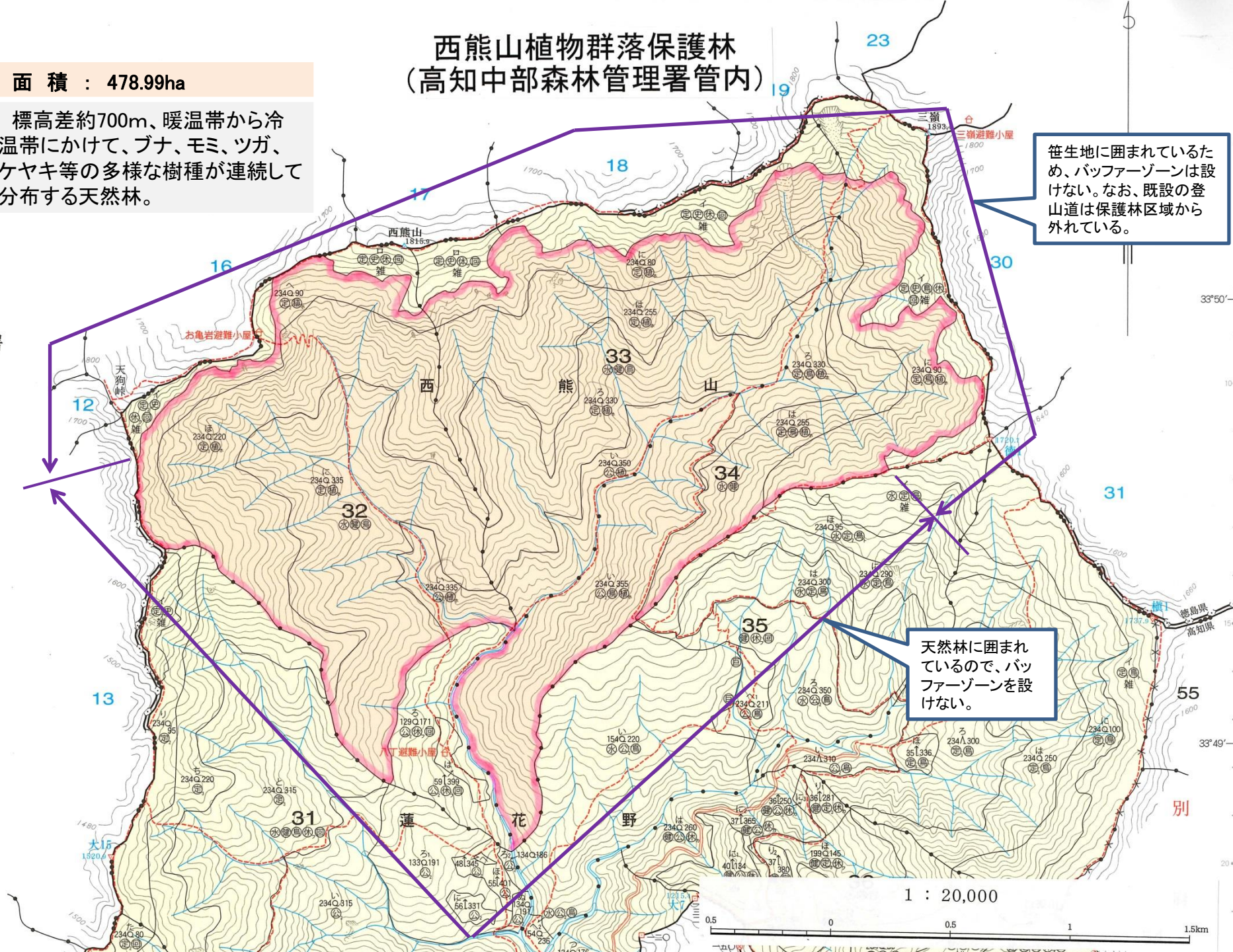
西熊山植物群落保護林 (高知中部森林管理署管内)

面積：478.99ha

標高差約700m、暖温帯から冷温帯にかけて、ブナ、モミ、ツガ、ケヤキ等の多様な樹種が連続して分布する天然林。

笹生地に囲まれているため、バッファゾーンは設けない。なお、既設の登山道は保護林区域から外れている。

天然林に囲まれているので、バッファゾーンを設けない。



森林管理署

子市

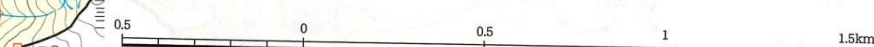
川広域流域

林計画区

徳島県
高知県

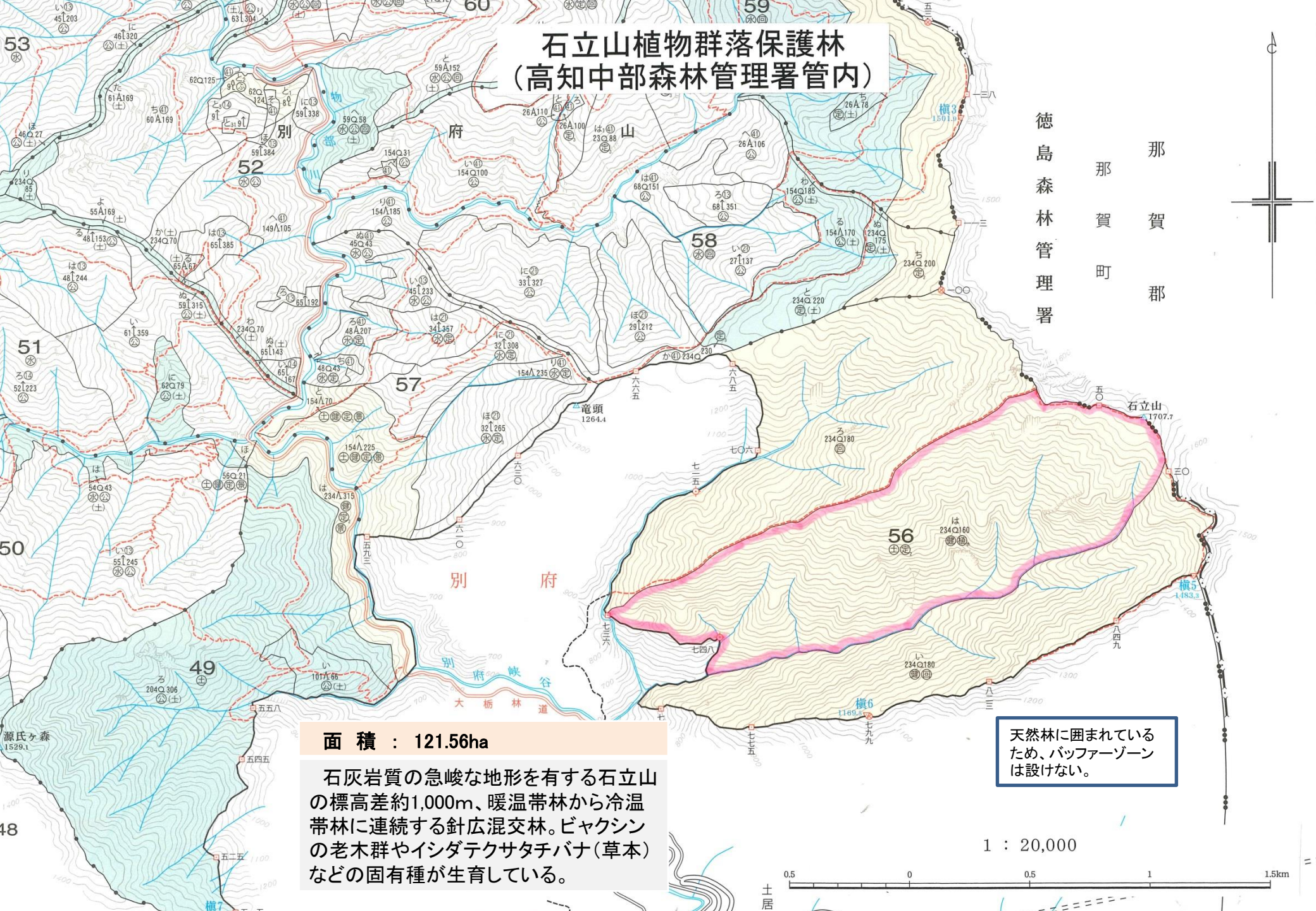
別

1 : 20,000



石立山植物群落保護林 (高知中部森林管理署管内)

徳島森林管理署
那賀郡
那賀町



面積：121.56ha

石灰岩質の急峻な地形を有する石立山の標高差約1,000m、暖温帯林から冷温帯林に連続する針広混交林。ビャクシンの老木群やイシダテクサタバナ(草本)などの固有種が生育している。

天然林に囲まれているため、バッファゾーンは設けない。

1 : 20,000

